

循環器疾患対策

考える「つどい」 徳島市

接種証明アプリも活用

心筋梗塞などの循環器病対策について考える「健康を考える県民のつどい」(県など主催)が8日、徳島市の徳島グランヴィリオホテルで開かれ、128人が参加した。新型コロナウイルス

ワクチンの接種済証などがあれば行動制限を緩和する国の実証実験の一環で、入場の際にワクチン接種を



GRANDVIRIO HOTEL TOKUSHIMA

循環器病対策について講演する佐田教授
＝徳島市の徳島グランヴィリオホテル

証明するスマートフォンアプリも活用された。徳島大学の佐田政隆教授(循環器内科学分野)が「心臓における病気と循環器病対策推進計画」と題して講演した。県内で心疾患と脳血管疾患が原因で亡くなる人は全体の4分の1とがんに次いで多い上、高齢者が要介護になる要因のトップだと説明。「昨日まで元気だった人が突然倒れて亡くなる。非常に怖い病気だ」と述べた。生活習慣に気を配れば予

防できるとし、適度な運動や栄養バランスの取れた食事などを促した。アプリはSOMPPOホルディングスが開発し、接種履歴の管理や表示ができる。参加者のうち52人がインストールして提示し、会場に入った。このほか、67人は接種済証を持参しており、接種していなかった9人はその場で抗原定性検査を受けた。(乾菜里子)